

# ポケットジャーナル



## ★期待される

心身障害福祉センター  
神戸市が、50年から建設していた「心身障害福祉センター」が兵庫区水木通二丁目に完成し、いよいよ7月8日オープニング式が開かれる。この建築物は地上7階地下1階の神戸市でも初めての大規模なもの。



心身障害福祉センター

内容としてはセンター部門として相談室、判定室、会議室、研修室、体育室、理学・作業・温浴療法室など、肢体不自由児通園施設「くすのき学園」、難聴幼児通園施設「ひばり学園」心身障害者を対象とした授産施設などの施設がある。

隅々まで利用者への配慮がみられる立派な建物が有効に使用され、多くの人々が障害にめげず社会復帰できるようにと多にこれからが期待されている。

## ★你們好（ようこそ）！ 天津歌舞団一行

中国天津歌舞団の神戸初公演が五月十、十一両日神戸国際会館大ホールで行われたが、それに先立って五月九日夜、オリエンタルホテルにおいて一行の歓迎レセプションが催された。孫福田団長を皮切りに坂井兵庫県知事、宮崎神戸市長の「乾杯（カンペイ）」



和やかなレセプション

の音頭が続くなかで会和やかな雰囲気の中に始められ、舞台では一行による今回の出し物も披露された。今回の公演に際して一行の最年少である蔡勤さん（19才）は「天津・神戸両市の姉妹都市の関係に報いるためにも今回の公演は成功させたい。そのために自分としては最善を尽くす」と力強い言葉で語った。友好ムードいっぱいの中に全員で「幸せのうた」を歌いながら会は幕を閉じた。

## ★意欲的な西川寿之助の リサیتال―邦舞

西川流舞踊家、西川寿之助さん（京都在住）のリサیتالが来る6月16日午後1時から神戸国際会館でひらかれる。チケット3、000円。



西川寿之助さん  
は神戸の  
スター舞  
踊家との交流も深く、どち  
らかという西川流と神戸  
は馴染が浅いこともあって  
5年前にもリサیتالを開  
いている。番組も意欲的な  
もの「二人挽久」では挽久  
を西川寿之助、松山大夫を  
西川鯉太郎が踊る、ほか「四  
季」「三葉草」では西川鯉が翁、

## 誕生日 ありがとう 運動



あなたも参加しませんか  
市民参加の啓発に！！

本運動主催の第五回市民の福祉講座を、次の要領で開きます。

○七月二十四日（日）

○北須磨保育園センターと北須磨団地（須磨区及び丘）

○日程は

午前「障害児問題と地域社会」守屋定雄先生（北須磨保育園センター所長）の講演と北須磨保育園センター園児と、ちえまぐれの通園施設丸山学園児の交流のハムリをみる。

午後 福祉訪問講座参加者（本運動ボランティアが組と）連動ボランティアが組として、北須磨団地を訪問し、簡単なアンケートをもちに、福祉について話し合う。

○福祉訪問で体験したことを、小グループに分れて話し合う。

○参加料 三百円 中高生生古円

○対象は、福祉・障害児問題に関心をもちつづける人びと

○申込みや詳しいことの問合わせは、左記の運動本部まで

今同市民参加による社会啓発を初めて計画しました。社会啓発に自分の体でぶつかって、体験してください。

誕生日あがりという運動とは

精神障害児の啓発運動です。

みなさんの誕生日のお祝の中から意識的に百円節約して貯金していただき、年に一度の誕生日を有意義にしようという運動本部

誕生日あがりという運動本部

神戸市真谷区御幸通八十一一六神戸国際会館一階の郵便局の隣

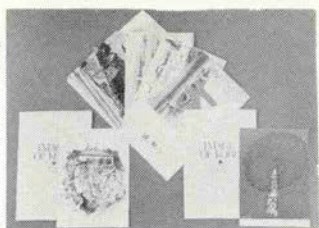
電話二五一八一六一内線三六

三番叟を寿之助で、「須磨」では若柳寿邦(若柳流宗家)が此兵衛を、松風を寿之助が踊る。

この他、「青海波」花柳芳五三郎、芳柳芳恵一子、「まかしよ」を尾上菊見、「たぬき」を花柳芳更といった地元の名流が勢揃いして花を添える。

### ★神戸の香りを――

中西勝、貝原六一、石阪春生三画伯が描く神戸風景が「IMAGE OF KOBÉ」という絵葉書として発売された。第七回神戸まつりに協賛して発売されたもので各5枚一組セットで150円。便りを出してしまうには惜しいようなハガキです。



さすが！ 神戸の絵ハガキ

現在さんちかインフォメーションにて発売中。お問い合わせは市青少年課まで★EVERYDAY LI FEという

ワマンンショー

デスマスクがガス管をくわえていっているや犬がトイレのお風呂に入っている「絵」。風を集める「装置」。(これは別註24畳敷の大広間に展示されている)黄色いオートバイのパネルは最寄りのバス停に、家までの路にカラフルなビニールを敷いてたり、とに角盛りだくさんの内容の模忠さん久々の個展が5月1日～8日まで高取山麓の自宅で開かれた。



チューさんハキルの巻

何といっても最高なのは忠さん自身のスタイルで、頭、ヒゲを半分だけ見事に剃った姿。4月末の日曜日この姿で三宮を歩いて道行く人すれ違ふ人の反応を納めたビデオも放映。「何でもええやん、日常の身近な空間をちよっと変えてみて発表したんや。」とあいかわらずユニークデシタ。

★神戸の街にふさわしいおみやげが

ズバリ神戸みやげとしてうってつけの「陶版製額皿」がこのほど神戸新聞出版センターとニホンアートの共同開発により、発売されることになった。

ユニークなタッチで神戸の異人館を描き続ける広瀬安美さんの原画を純白の陶版に焼き込んだエキゾチック神戸にぴったりの品で、木枠に入れて額として飾ったり、ホットプレートとしても利用できる。旧E・Hハンター邸、トーマス邸など人気の高い異人館七種類がある。



神戸のおみやげにいかが？

本棟長方形1800円、ホットプレート用950円。お問合せ、お申込みは神戸新聞出版センター(電話252-1008)ニホンアート(電話851-4816)

★NHK朝の連続ドラマに神戸が舞台の「風見鶏」昭和36年から二十作目になるNHK朝の連続テレビ小説に近畿本部制作の「風見鶏」が十月三日より半年間放映される。このドラマは杉山義法の手書き下し

## 美術ガイド



★兵庫県立近代美術館

20世紀ドイツ絵画の巨匠エルンスト展 6/4～7/10

★南宝美術館

第26回兵庫県日本画家連盟公募展 6/17～6/30

★大丸神戸店美術画廊

東丘社日本画小品展 6/9～6/21

片野かほり紋り展 6/16～6/21

第5回日経会日本画展 6/23～6/28

★そころ神戸店美術画廊

桐野江節雄油絵新作展 6/10～6/15

★三越神戸店アートギャラリー

神戸在住作家 萬浦大悦日本画展 6/7～6/19

わたしのお父さんの絵と作文展 6/14～6/19

★さんちか広場

新協美術写真部神戸展 6/9～6/14

オール関西学院美術展 6/16～6/21

中国物産展 6/23～6/28

★ギャラリーさんちか

兵庫風光会新人展 6/9～6/14

仁影会写真展 6/23～6/28

第5回青銅社展 6/1～6/14

★KCCアートギャラリー

神沢知丘書展 6/1～6/14

★KCCギャラリー

77アートグループB「見る、見つめる」展 6/5～6/14

宮崎舟山山画展 6/19～6/25

丹波陶友会展 6/26～7/2

甲南大学写真部新人展 6/15～6/26

★青屋市民センター

第30回青屋市展 6/15～6/26

★サントアギアギャラリー

吉田稔郎の環境デザイン展 6/5～6/11



で激動の大正・昭和を背景に和歌山の太地で生まれ神戸でドイツ人のパン職人と結婚し、外人たちから「われらの母」と慕われたマダ



期待の新人、新井春美さん

ム・ハインリッヒこと松浦さんの愛と夢に満ちた波乱の一生を描いた物語。ヒロインにはオーディションを突破した新井春美さんが決定。神戸を舞台に国際結婚をし日本で初めてヨーロッパ風のパン作りという話な

ので画面にはエキゾチック神戸の魅力がふんだんに登場するという神戸っ子には楽しみな番組です。

★軽妙なタッチで描く遊記  
西宮神社に奉職のかたわら西宮文化協会事務局長をも務める吉井貞俊さんがこのほど第4冊目の著書「誰

でものヨーロッパ」を発刊した一人としてその旅行記及び感想を綴ったもの。と



誰でものヨーロッパ

花時計  
★人間の活力とは  
いま、エネルギーの問題がいろいろな話題を呼んでいる。石油ショックという言葉が生れ、日本の経済の様相を一変させてしまったのも石油というエネルギー源のもたらしたものである。その、石油ショックから3年を



経ていままも経済不況は深刻そのものである。エネルギー源の開発に躍りになったところで石油に変わるエネルギーは簡単には生れてはこない。エネルギーが動力源なのである。そのすさまじい影響力を忘れてはならない、油断は禁物なのである。そこで、考えを人間のいろいろな活動におきかえて見よう。

かつて、故井植蔵男氏によく「私のアイデアや活力は自填作用なんだ」といつては笑っていた。

(Y)

いっても、さし絵のスケッチも自筆で美術や文学に対する著者の造詣の深さが伺える。カバー表紙の装幀が東山魁夷画伯の詩画集「コンコルド広場の椅子」より転載され洒落ている。

中外書房Y980

★歌集「蒼い星」出版

湊川神社宮司の吉田智朗さんが歌集「蒼い星」を神戸新聞出版センターから出した(二千円)。吉田さんの古稀を記念する意味もあつての出版だが、表題作「蒼い星」五首をはじめ昭和十年以降の作が約三百首収められている。五月十八日には湊川神社能楽殿で出版記念の集いが催された。

この自填作用、こそ、人間の活動の源泉でありエネルギー源ではないかと思う。

いろいろな理念や慾望をもつても人によつてその填出力が違ふようだ。不思議なことだと思うが人間の動力源のひとつに健康であることも大切な条件なのだろうがそれだけでもないと思う。人間の活力はどこから生れるのか。文明のエネルギーが石油にたよっているということが判ってきてはいるのだが。

## ●KOBE POST

★大フィルの指揮者朝比奈隆氏はこの程、西独大功労十字章を受賞され、その祝賀パーティが6月10日(金)午後6時より相楽園会館で開かれます。おめでとございます。

★また、長男の朝比奈千足氏も、5月上旬より東ベルリンのドイツ国立歌劇場に音楽総監督オトマール・スティーナー氏の助手として約1年間の予定で勤めることになり

渡航。住所は 1000 Berlin 39, Heide Str. 2 West Germany

★中西勝(二紀会)画伯、咲子夫妻が5月16日渡欧。約3カ月の予定。パリからアフリカへというコース。

★四月二十三日と五月二十二日、

県立近代美術館で、橋本関雪展が開かれましたが、関雪画伯の生家の所在地と推定される神戸市生田区大倉山公園内に記念碑を建立

五月二十二日(日)午前十一時

四〇分三時迄雨の中の除幕式。

京都より井上流の井上和子を初め芸妓、舞妓が京舞を踊り、生間流の式座丁を吉岡米太郎と生間正保が披露・記念碑を建てる会の発起人は小野竹斎、井上靖、宮崎展雄坂井時忠氏。

★今はなき古林喜楽元神戸大学学長を偲ぶ三千人のピアパーティが5月29日神戸大学学生会館大ホールで開かれました。世話人代表は菅正徳さん。

★二紀会の高崎研一郎さんが寺田陽子さんと6月結婚されました。おめでとございます。

★劇団神戸の浜田義則さんと太田和子さんが5月5日西宮市民会館で結婚され、5月21日レストラン「バーグ」24Fで、友人相集い披露パーティが開かれました。おめでと。

★転破の会の久家恵一さんが六甲に転居。新住所は灘区八幡町1丁目9番20号六小川マンション202号室078(822)1366です

水あそびの仲間がそろったよ！  
よいこのお友だち



おもちゃの



**カメヤ**

三宮方面でのお買物は…  
さんちか店 ファミリータウン ☎ 391-4045  
三宮店 センタープラザ ☎ 331-4969  
元町方面でのお買物は…  
元町店 元町通3丁目山側 ☎ 331-0090  
パン浦店 元町通1丁目不二家前 ☎ 391-0768  
神戸駅前方面でのお買物は…  
サンこうバ店 神戸駅前地下街 ☎ 351-6002



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

**三恵洋服店**

元町4丁目 TEL (341) 7290



ジューンブライトニ  
サチオオカレ！

＊ウェディングケーキご婚礼お引出菓子予約承ります

北 欧 の 銘 菓

**ユーハイム・コンフェクト**

■本社・工場・熊内店 神戸市灘区熊内町1-8(市立美術館東隣) TEL 221-1164  
■三宮センター店・さんちか店・大丸・そごう・阪急・三越・神戸デパート・元町店

おすし  
てんぷら



**榮 彌**



本店 大丸前・三宮神社東  
TEL (331) 56772  
支店 さんちか味ののれん街  
TEL (391) 5233  
(毎週水曜日休み)  
(第3水曜日休み)

営業時間  
A.M.11.30~P.M.9.00

# トモエ

小倉 弘子

え・題字／南和恵



「ほんとうは迷ったんよ。私は方向オンチやけど、人に聞くのはカッコ悪いし、三十分以上も駅の前をうろうろしてたの」

しばらく黙りこんでいた智世が、急に舌ったらずの物言いで、上目使いに加奈子を見上げた。その甘ったれた鼻声に、加奈子は自分の質問の意図をはぐらかされた気がした。

だが、ただ遊びにくるだけにしては、一時間半以上の道のりは遠過ぎる。来訪に費す間中、もっとその当人の意志を持続させる、何かの根拠が胸の中に抱きこまれているはずだ、と加奈子は思った。が、その本人は、無邪気なしぐさで、ショートケーキをフォークで崩していた。加奈子は無言でこの少女の不思議な態度さを見つめた。それでも身なりは、他人の家を訪問するに相応しく見える、紺地に白の水玉模様のワンピースで装われている。そのウール地の肩先から、日向くさが匂っていた。自分分なら、いくら陽さしの拡がったアスファルト道を歩いて来ても、こういう懐かしい匂いは、軀に染みつかない気がする、と加奈子は息を深めた。

もう気の遠くなるような昔、加奈子が疎開先の岡山県下で終戦を迎えた年だった。その秋、記録的な大雨に西日本が見舞われた。

借りていた家の裏を流れる川が氾濫して、僅かな家具や衣類ではあつたけれど水浸しになった。父は復員していず、加奈子は水の退いた堤防にむしろを駆け、母と二人で畳や衣類や、鍋釜の勝手道具まで日光に当てたものだった。

その種々雑多な干し物の横で、見張りかたがた加奈子は水遊びをしていた。何日も降り続いた雨の後、青磁色に澄みきった空から降り注ぐ陽さしが、もう元に返って和んでいる水面をきらめかせていた。その川の表情の変わりようが不思議なほどであった。赤茶色に渦巻いて、猥雑のような唸り声で荒れ狂っていた流れとは、とても同じ川に見えなかった。

加奈子のセーターや、母のもんぺや、洗ひ晒した古肌着からたち登る蒸気が、広い空間に吸われて消えるのを、加奈子はぼんやりと見つめていた。全身が汗ばむような、秋には珍しい照りの強い午後だった。



急に話し声がとぎれて高い笑い声に変わったのを耳にし、加奈子は何気なく堤防の下を覗きこんだ。すると、自分たちの露骨な高笑いに気づいた近所の二人の主婦が、あたりを見廻す物腰で加奈子を見上げ、ふっと肩をすくめると相手の胸を交替でこづき合った。

「子供が聞いてたがな」

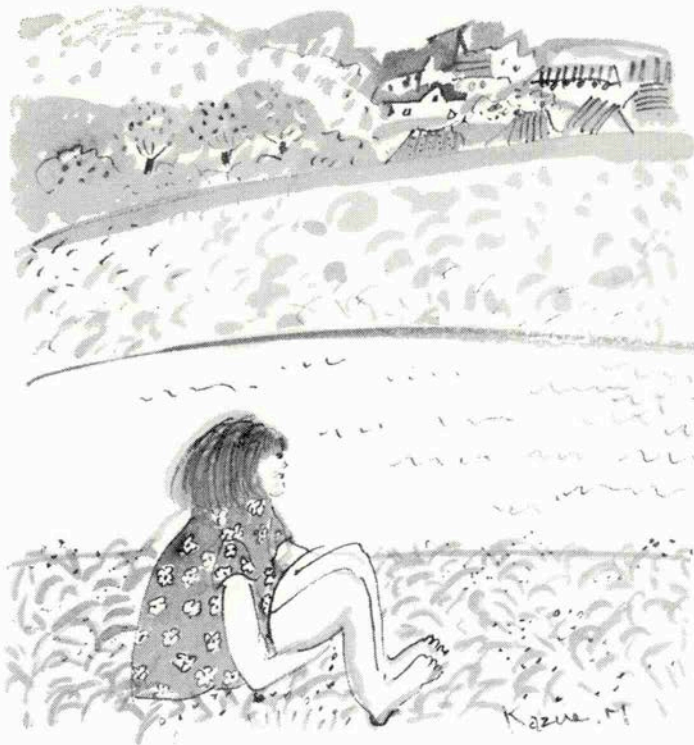
「別になあんともないが。水害見舞の話しとただけじや。街かたのべっぴんさんは、特別親切な見舞がある、ちゅうこっちゃ」

それが誰の噂か、加奈子にはすぐわかった。母のところへよくたずねてくる按摩の男のことであった。加奈子も半盲のその人の手を引いて、川向こうの自宅まで送っていたことがあった。子供心にもそれが嫌であった。馴染みきれない田舎の学校の、級友の眼に触れたことも

あったし、それよりも何よりも、自意識の芽生え始めた自分自身が、まだ青年期の名残りを留めている男の手を引く行為自体、妙に汚らしく思われて嫌であった。が、母はこの村で大阪弁を話せる相手は、その男以外になかった。二人の話しぶりは明かるくて加奈子の心も和んだ。大阪の懐しさが胸にしみこんだ。

加奈子は今思っても、母が父のいない間に、軽口の良い合える男を家に寄せつけたことが、多少の不謹慎さはあると感じても、心根としては理解できる気がする。

山ベリと川とに挟まれた細長い村落で、疎開者に冷たい周囲の人眼に、いつも射すくめられていた母が、たまたま知りあった同郷の人間を、話相手にせずにはいらなかった気持ちはわかる。でも、と加奈子はその後も年を重ねるにつれ、ふっとした疑惑が頭の隅を掠めることは



あった。

その足で、加奈子はすぐ堤防の石段を駆け降り、裏口から家に入った。

清さんのいつもの屈託のないよく響く声が耳に届き、母の合槌の言葉がそれを追った。

「おれなんか生まれたとこやさかい、一生ここにいるかもわからへんけど、奥さんは旦那はんが帰って来はったら、あしたにでも大阪へ戻る。よろしおますがな」

清さんはそういつてから、物音に気づいたように視線を宙に漂わした。丸い卓袱台に向かい合って、二人は話しこんでいた最中らしかった。加奈子は何とはなしに安心した。この空気には、外の陽さしの匂いがあると思つた。暖かく軽やかで、透き通るように明かるくて、心が弛むふくらんだ匂いだ、と鼻孔を開いた。すると清さんが、

「嬢ちゃん、外はええお天気だつしやろ。あんた入って来はったら、お日さん背負うてはるみたいに、いっぺんにそこらがぬくうなったがな」

と加奈子の顔の位置より、ずれたあたりに眼を向けながら、白い歯並みを見せて笑つた。

もう目鼻立ちも覚えないうほど、記憶の遠くに薄れてしまった清さんの顔の割に、その澄んでよく響いた声音だけは、耳底に残っている。

お日さん背負つてきはつたみたい。今の智世の肩先にも、その匂いと温くもりが染みている。

清さんの言葉に軽い笑い声をたてた母も、父の死んだ五年後に子宮癌で亡くなった。

父が復員した明くる年、加奈子は女学校の受験のため大阪に帰ったが、母が帰阪するまで母方の叔母の家に寄宿した。父は加奈子に続いて大阪に戻り、職探しに駆けずり廻っていたが、古い友人に誘われて美容材料商の事業に参加した。母が念願の大阪へ帰って来たのは、加奈子が高等女学校の二年生から、新制中学二年生と呼び名が変わった夏で、その間父と母とは別居していたわけだ

から、今になって加奈子が、あの頃母はひよつとしたら、という疑いが湧いてくるのも、不思議だといえなくもなかった。

だがそんな時、加奈子は自分自身の鬱陶しい考えをすぐ跳ねつけた。自分が母の年齢と同じ時期にさしかかってきて、女の生理というものをつぶさに知ってしまった今、もう死んでしまった母のことをあれやこれやと想像するのは、ひいては夫と離れている自分の内側の、淫靡な驕りを自覚していることになる。それは奇妙に強い自分の屈辱感だ。

加奈子は我に戻った。

今日この少女が、思いつきにせよたずねて来てくれたことの、自分に与える何らかの効果を考えたら、乾いた空気が流れこむ風通しのようなものではないだろうか。ちようどこの陽さしの懐しい匂いのように、綿の繊維をふくらませる、紫外線の明澄さだ。数時間後、加奈子はもうすっかりうち溶けたように、智世に台所を手伝わせていた。それとなく見ていると、智世の手先は仲々に器用であつた。茹でたキャベツの葉を破らぬように、ミンチ肉を巻きこんでいるその手つきが、あまりに堂に入っているので加奈子は感心した。

「あんた、お料理が好き？」  
「うん、まあ取り得はこれだけかな」  
そのいいかたが、夫のよくいう口癖にそっくりだったので、思わず加奈子は笑わされた。

「私もそういわれるわ。料理だけが取り得で、それを食べるのが楽しみに船から帰ってくるんだって」  
「男っていいじゃない」

「結婚して、何十年もたつとそんなもんよ。女らしさ、可愛いさ、その魅力より、おいしいもの食べさせてくれる女房の方が、現実には満足できるみたいに思ってる。だから智ちゃんなんか、見かけは男の子のようだけれど、案外いい奥さんになるかもわからへんわね」

加奈子の言葉をどう受け取ったのか、智世の肩が動か

なくなった。が、加奈子は気づかずに鍋の中を覗きこみながら話を続けていた。

久しぶりの潤んだ気分の中で、自然口調が浮かれています。

「結婚すると女の子が変わるもんやよ。生活に馴らされるという方が、当たっているかしら。智ちゃんだって、今のあんたが想像しているより、女らしくて、そして良妻タイプになるかもしれない」

加奈子は、スパゲッティの茹だり具合を指先でたしかめながら、無造作にさっきの言葉をくり返した。

「今のおばさんのように、貞淑になるというの？」

加奈子は急に相手に口をつぐまれた気がした。冗談めいた軽い言葉の響きではなかった。

加奈子はまた沈黙に戻った。先刻の、二人してかもしだした、上機嫌の雰囲気は何だったのだろう、と思った。



加奈子は、とうとう智世に祥二が帰ることをいいそびれて昼食の用意に立ちあがり、智世は智世で、珍しそうに飾り棚を覗きこみながら、

「おばさんの旦那さんって、趣味の多い人やね」

と、アフリカや南米産の民芸品を手にと取っていた。加奈子が台所に入ると、奥の間から音量が溢れてきた。買ってきたものの、あまり性に合わないのか、めったに祥二がかけたことのない、カンツォーネ風のポピュラーソングだった。心が少しとがりがけたのを、加奈子は抑えた。一人でいる時に、室内に音楽が流れるなどということは、ほとんどない毎日だった。折角気持ちよく昂ぶりがけた想いをしこらせたくなかった。情感のこもった歌いぶりに、無理に聴覚を馴染ませようとした時、ぶつかりと旋律はとまった。やはり不躰けに気づいたのだろうか、と加奈子は思ったが、わざわざ引き返して奥まで覗きに行く気は起こらなかった。そこへ智世が所在なさそうな顔つきで現われた。加奈子は思いなしに浮かぬ目つきをしている智世が哀れに思えた。まだ子供だと思っ

た。住みこみで親もとから離れている少女が、ふとしたきっかけの知り合いでも、他人の家庭をかいま見たい気に襲われてやって来たのだろう、と気がついたからだった。

「帰るわ」

と案の定智世はいいだした。

「いいやないの。お昼ごはんを食べてからでも。ね？」

と加奈子は相手をひきとめた。

あれが自分の悪い癖だ、と加奈子は今思った。気持ちを取りなしたつもりでいたけれど、世馴れた自



分に調子を合わすには智世は若すぎる。したいようにさせればよかったのだ。

加奈子がすすめた言葉に対し、一瞬智世は考えこむ目つきになった。それからなぜか、年相応の弱々しい感じを見せて、後手に組んでいた腕をほどくと遠い視線になり、人差し指の爪を噛んでしばらく黙りこんでいた。

「手伝ってくれるでしょう？」

加奈子は軽く言葉をかけ、自分のエブロンまで渡してやったのだ。若い娘の甘ったれた照れ笑いを加奈子はやわらかく受けとめ、結局は相手に対しての思いやりを通り過して、自分で自分のやさしさに、うっとり包みこまれていたのか、と思った。

加奈子は改めて智世の背姿に見入った。それと同時に、こんな年頃の娘がいてもいい、と思う自分の感情に酔って、頬に笑いを絶やさなかった先刻からの自分を、頭の中でふり返っていた。が、当の相手は、不機嫌そうな背のこわばりを見せて、静脈の青く透けたストッキングのふくらはぎに、フレアースカートの裾を波うたせながら、苛らだちを抑えている風であった。食事の用意を手伝うのが、そんなに気に入らなかったのか。もう半分はうんざりした気持ちになり、加奈子は手荒くガスのコックをとめた。

鍋の中の茹で汁をこぼしていると、背後で智世の手順の終ったのが気配でわかった。思い過ごしかもしれないが、台所を脱けだす頃合を見測っている目つきが、自分の背中にまつわっている気がした。少し荒だった息が智世の口から洩れている。そんなに帰りたいければ、こっちから口実をいい渡してやろう。そう思って、くるりと軀の向きを変えたとたん、眼を潤ませた智世の口から呻き声がほとばしった。眼を睜いだ加奈子の視野に、海老のように丸まった智世の上半身が走りこんで来た。その両掌から溢れた汚物が粘って絲をひいている。自分のうたえた声が、他人の声のように聞こえた。いきなり悪い映画の一シーンを見せつけられたように、加奈子は流しの

縁に腕をかけ、上半身を揺るがせている智世を、まるで痴呆者のような目つきで見ている。智世の胸のむかつきがおさまるまで、加奈子はぼんやりと立っていた。

嘔吐の匂いと、上げたばかりのスパゲッティの蒸気が、生温かく鼻先にまといついて加奈子は我に戻った。どろりと濁って輪郭のない白い吐瀉物が、ステンレス板に盛り上がり上がっている。鳥肌がたつのを覚えて加奈子は息をとめた。曖昧に顔を上げた智世が、それだけは早い動作ですぐ蛇口をひねった。

この子は妊娠している、

思わず水滴のほとばしりを避けて後ずさった加奈子の胸に、その考えが付き上げてきた。身ぶるいがいきなり背すじを走って、加奈子はテーブルに両腕をついていた。

智世は、そんな加奈子に見つめられるまま、まだおびたらしい水を流しつづけていた。閉めきった台所の四角い空間に、ステンレスを叩きつける水音ばかりが響きわたっている。片脚をゆるく引き、腰をひねって排水孔を眺め入っている後姿が、年に似つかわしくないふてぶてしさを見せている気がした。

加奈子は妙な感慨に襲われはじめていた。

小麦色のストッキングに包まれた頼りなげな細い脚、あんな子供じみた脚が、朱色の熱い肉の子房を支えているのか。年端もいかない小娘が、という嫌悪から離れた、変な感嘆の情に加奈子は自分で自分をおかしく思った。もとの部屋に智世を呼び入れて、さて何を話しかけものかと、加奈子は相手の顔を見つめ入った。帰るなら潮時だと思ったのに、加奈子の後に素直について来て、窓の青いカーテンを透かす光線に眼を逸しながら、黙って卓袱台の前に坐りこんでいた。

軽い放心を現わしているような、白く乾いた唇を加奈子は見つめながら、この子はこれからどうするのだろうか、とはじめて現実的な心配が湧いてくるのをおぼえた。

それと同時に、この娘は普段はどんな子なのだろうか、と知らない日常の側へ鋭く想いが向いていった。(続く)

Orthodontist



播磨矯正歯科

神戸・元町 ☎391-5288

夏の光にてあざやかな色 リフレッシュクリーニング

あなたのファッションをFRESH UP!

**ニシシヤ**

神戸市東区紀伊町1 ☎078(861)2440

山手店 三宮店 熊内店 宝塚店

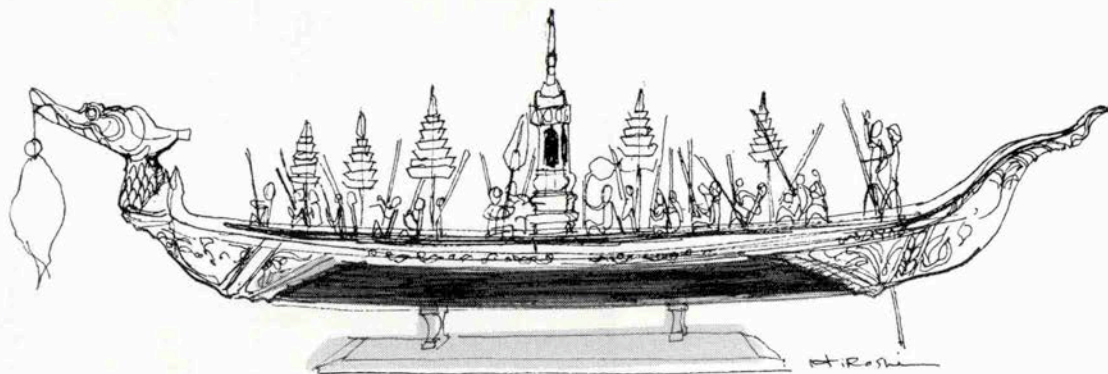
連載小説

〈1〉

# シール・ブラウンの神々

田摩 新

絵・松本 宏



(I)

北インド仏跡めぐりの十五人のパーティのうち口髭を生やした男は、私ひとりだった。八日間の旅行中、不精髭をいっさい剃らない広告マンが、ひとりいることはいたが。

一行のうち八人が僧侶である。二日おきにいていねいに剃刀をあてる。クリクリ頭の剃りあとに、インドの太陽が、ようしやなく照りつける。汗は、たちまちのうちに蒼い水の幕をはりつめた。

この剃髪には、エピソードがあつて、長髪だった三人の僧侶たちも、毎晩どこかで髪を剃り落とした。その上に、旅の最終日の夜には、旅行社の添乗員までが、バンコックのホテルで得度の儀式をおこなった。八日間の仏跡めぐりに感じるところがあつたにせよ、クリスチャン系の大学を卒業している彼が、丸坊主になった。長い髪におしゃれのパーマをかけた添乗員が、髪を剃り落とすとその童顔が、どの僧侶よりも、もっとも修行僧にふさわしく見えた。そして黒いロイド眼鏡が、丸坊主の頭に、輪をかけるように似合った。

私は添乗員とその夜、ホテルで飲みあかすことにしていた。私は、彼を部屋に呼び、ネパールで



買ったジンをテールブルに出した。明日の夜は、日本へ帰れる。その安心感が、一行をよりほがらかな雰囲気につづんでいた。インドのみやげものをトランクに詰めかえ、旅のメモをつづりながら、笑い声がたえない。そして、最後の夜を惜しむかのように、何人かが連れだつて街へくりだしていった。

街へ出かけなかった二、三の僧侶たちも私の部屋へやってきた。手に手にウイスキーをさげ、まだ残していたらしいイカの燻製に焼きのり、梅干まで用意してくる。添乗員の野中は、得度の儀式のあと、汗をながしてきたのか、さっぱりした顔を私の前に現わした。パジャマ姿である。真夜中に両親の寢床へもぐりこんできたおしやまな眼差しが、彼にはあった。

乾杯。グラスがふれあう。寄せあう蒼い頭が離れる。「野中くんの得度した真意はなんだ」と私。「いわずもがなかな」と僧侶のたすけ舟。「酔ってからにしてほしいな」

野中は笑いながら、鉢をかわしていく。クリクリ頭の生ぐささが、一瞬、私の心を熱く刺戟する。もろ肌風に風がそよいでいる。ふるえるような初ういしさが、恥ずかしげにゆらめく。ルームライトにひかる富士額、まるみのある後頭部、項<sup>うしろ</sup>ぎわのぼんのくぼ。その窪みすぎた蒼い影に、まだ生毛が残っていて、彼の幼い面影をいっそうきわだたせている。項からながれる骨ばった背中<sup>うしろ</sup>の線に、丸裸にされた処女のおいがあつた。

僧侶たちは、ソファに坐つたり、ベッドに横たわつて、グラスを持った。私は酔っぱらわれない前に、バッグからスケッチブックを取りだす。インドの旅で描いたあわただしいラフ・スケッチのつづきに、僧侶たちを描きたかった。とくに野中のクリクリ坊主を。記念すべき得度した日の彼を何枚も何枚も描きたい。

「俺は、モデルじゃないよ」

野中は、私の執拗な眼差しに抵抗するかのよう、眼鏡の奥で睨みかえてくるが、私はかまわなかった。野

中の頭部を三点、矢つぎばやに描いた。

彼は、ときどき私にふりかえり睨みつけては、グラスを空ける。細い指で両眼を押え、鼻をつまんでは、瞳をうるませる。眼をしばたかせ、鼻をひくひくさせ、さかんに喋ることで、私の眼差しを払いのけている。まれに、額にたれる髪をなであげるように指が頭にのびる。髪のないのに気づく指が、クリクリ頭をむなしくはじく。首を左右にふつても、耳から肩にながれる髪はない。彼のそんな仕種が、みてもあきない。彼は、頭上を掠める風におびえている。それは女の尻が、ふと冷たい空気にふるえるのに似ている。私は、にやにやしながらも6Bの鉛筆をはなさなかった。

私はスケッチの四点目で集中する力を失っていた。眼に蒼い幕がかかり、じっと見つめようとすれば、坊主頭が二重にゆれうごくのだ。私はスケッチブックを閉じ、グラスに手を伸ばす。

日本へのみやげ用のジンは空になった。ラム酒も半分になった。私はグラスを持ったまま両眼をおさえ、そのまま口髭をなでている。酔って赤くなった顔に、口髭は保護色に変色しているだろう。

そのうち、私は袈裟姿の野中を描いてみたくなる。私の気ままな希望に僧侶の一人が、袈裟を持つてくる。

「フリチンのまま、直接着るもんだ」

野中は、いわれるままにパジャマを脱ぎ捨てて。パンツの形だけが白い。厚みのある黄色の袈裟を肩から背に巻きつけてゆく。私は眼を細め、思わず鉛筆を握りしめ画用紙に向う。やがて、その着付けがおわると若い修行僧は、両手を胸の前にあわせたり、印を結んで恥ずかしげに笑った。僧侶たちは別れの挨拶をして部屋を引きあげていった。

彼をたたせ、部屋を歩かせ、ベッドに横たわせる。野中のポーズをなぞりながら私は楽しんでゆく。インドでは、老若を問わず男たちの昼寝をよく見かけた。公園の

柵の上で、大樹の下で暗褐色の寝姿は、そのままのかげのたずまいにとけこんでいた。彼らは大地の神に寄り、太陽と共に息ずいていた。

野中の貌に、ふと若いガンジの貌が重なる。立肘で坊主頭をかしげ横たわる涅槃図には、ゴヤの「裸のマハ」が寄りそってきて、私をとまどらせた。

私は気ままに、しかも上機嫌だった。野中には、いろんなポーズを注文する。真新しい袈裟のひだが、肩から胸へ脛へとながれては、よんだ。私は灯の位置をかえてみる。黄色だと思っていた袈裟が、濃いオレンジ色にもえあがる。野中の貌にも、そのオレンジ色がまぶしく映え、私はある陶醉に満足していた。

修行僧は眼を閉じたまま冥想にふけっている。起伏する胸が、静かに息づいている。私の手早く描く鉛筆のすれる音だけが、部屋にくぐもっていた。私は、ときどき見ほれるように手を留守にしては鉛筆を歯でかんでいた。「もう、いいんですか」

私は彼の声にはっとして、また新しいページを開いた。「いや、ありがたいよ。無理なことを受け入れてくれて。もうしばらく、そのままの姿勢でいてもらおうかな」

「船田さん」

野中は私を呼んだ。それは、目の前にいる彼の声とは思えぬほど遠くで聞えた。空閒きだったのかと、私はそのまま画用紙に集中していた。ふたたび野中が私を呼ぶ。「これから喋ること、内証にしておいてほしいんですよ」

彼は、ふいに軀を起した。

「いや、やっぱり喋らない方がいいな」と、またベッドに横たわる。彼が、私に何かを語りたがっている。そのことが、今夜彼を得度に踏みきらせたことに関係しているのではなかったのか。彼の人生で、生まれかわらねばならぬ何かがあったのだ。私は、彼の心の内をのぞきこむように軀を乗りだした。

突然、ドアがノックされる。返事の前に、一陣の風が吹きあれてくる。街へくりだしていた僧侶やカメラマン、それに役所勤めの課長らが帰ってきたのだ。四人の話は猥雑で、バカ騒ぎのまつりのあとの寂しさをともなっている。

一時間余りの夜のアラカルトは、すべてホテルのボーイの献立にたよっていた。まず、ボーイがホテルの廊下をしのび足で歩いてくるところからこの幕が開くのだ。あらかじめ課長と話合いがついていたらしく、ルームナンバーをたどってやってきた。鼻がまるく、二重瞼の大きな眼をきよきよきよさせては、しよちゅうにこにこしている。このボーイの小麦色なら日本人にでもいそう。懺悔文のことは復唱してゆく得度の儀式がながびいたため、カメラマンの手がぬけられなかった。メンバーが揃わないことを、課長がひとりであらだっている。「奴の都合もあるだろうし、十二時までに入りたいんだよ」

「十二時を過ぎると、むしろ安くなるんじゃないのか」

「バカ、十一時に四人を、約束しているんだ」

得度のあとの祝杯もそこそこ、カメラマンがエレベーターに駆けつけたときは、十一時を四十分も過ぎていた。

ボーイの後にくつついた男たちは、足早にホテルの裏口からガレージに出る。そこには、白タクが用意され、開かれたドアへ四人が乗りこむ。行き先は、戦国時代の武士になぞって「壇の浦合戦場」といっておこう。クルマは、ビル街の表通りをひたすら駆けてゆく。やがて橋を渡る。南か北か、方向は定まらぬが、ともかく駆けつけける。

行けども行けども松林も、浜辺もない。突然、白いコンクリートの城壁にも似たアパートメントに突きこむ。

「いよいよ到着か」

「いよいよ」

潜戸をくぐるように大地におりたつ。乗るとき気づか



なかったのに、旧型トヨベットだ。コの字型の建物を仰ぐ。廊下に灯がちらほら。ついでに見あげた、夜空に星はない。

病院のような廊下をつたって二階へ案内される。待ちかまえていたおやじがでてくる。台湾系の顔だ。ボテ腹だ。ビジネスが開始される。指で値段が示される。侍たちは値切ってみる。イヤ、ダメダメ。それならヤメるよ。ホントカ。押したり、引いたり、そのうちに話は決まる。品物が押しこまれてくる。その品物が、やがて動きだす。そして笑う。病院なら、さしずめ看護婦見習い。チエンマイからも売られてきた女たちだ。

彼女たちは互に笑い、ガムをかんでいる唇をやすめない。瞳の大きい娘、唇のむくれた娘、おとなしそうな顔たち……やがて侍たちが、つぎつぎと相手を選ぶ。運命論者や反戦論者の弁を借りるまでもなく、国境を越え、過去の戦争を知らない若者たちの出会いが、はじまるのだ。あくまでも献立に従い、アラカルトの食事をするのに似ていた。

「俺の相手は、十八歳とかいっていたっけ」

「ことばが、全然通じなくてよ。口もきかなかった」

「ワシは、マル秘の裏話を訊かされたよ。女たちの分け前は、一ド



ルあるかなしかつてよ。後はホテルのボーイ、タクシーの運ちゃん、パン助のおやじらで山分けしちまうつてよ」

「日本人の客からは、ぼったくつてさ。同じタイ人なら半値以下でやらせるつてよ」

「奴さんらも、病気には気をもんでいるらしいよ。日本人に噂がひろまっちゃうと客が寄りつかなくてよ、店があがったりになるから」

「スキンを使ったのかい」

「二重にしたよ」

「ワシは、浴槽で並んで洗ったよ」

さすがに課長も僧侶も「映倫」を気にしてか、中身はぼかして語らない。

梅雨期のパンコックは、街の通りでも低いところは、洪水のよう水びたしになっている。タクシーは、平気でそのなかを走りまわる。水かさがあって立往生したクルマを膝までズボンあげた青年たちが、後押ししている。

目抜き通りでも食堂や雑貨屋の土間に、なみなみと水が入っていた。しかし、真夜中も過ぎると店は閉まり、クルマの数も少なくなった。この街の朝は早い。僧侶の托鉢から夜があけるのだ。

合戦後の帰り道の話がとぎれたところで、野中がまじめな顔を私に向けてきた。

「船田さんは、どうして同行しなかったんですか」

彼は、いつの間にか袈裟を、バジャマに着がえていた。

「カジュラオのミトウナたちと交わったから、生身の仏さんたちとは、ダメなんですよ」

「いや、皮肉も皮肉。まいった、まいった」

野中は悲鳴に似た声をはりあげた。私が、この旅行スケジュールにないカジュラオへのオブショナルツアーを申し出たのだが、彼は日程が組めないからと断わっていた。私が、まだそのことにこだわっているととして応戦の構えである。

「奥さんが、こわいんでしょよ」

「いや、七日間は、女房の顔も想いうかばなかったね」私は強がりをいいながら、課長の冷かしも退けていた。課長はシャワーを浴び、肌着類をバックに詰めこむと新しい下着をつけた。背広を持ってきたことを愚痴ほくくりかえしていた課長が、今夜になって役立ったのだ。

「女郎買いに背広を着ていったんだもんね」

四人は笑った。酒が空になった。仕方なく彼らは引きあげる。

私は、なんとなく落着けない。まだ飲みたらないのだ。野中も酔ってないという。

「じゃ、話のつづきも喋ってもらえないね」

野中は笑って、空のグラスをふった。ウイスキーは、まだどこに残っていそうだった。ルームナンバーをたよりに、ダイヤルを試みる。すでに地下のパーも閉まっていた。その理由をつけ、他の僧侶たちを揺るのだ。

川辺夫妻がウイスキーをさげてやってきた。悪運強し、まだ酒にありついたら、またもやグラスがふれあう。十五人のパーティーで唯一の夫妻連れである。さきほど街から帰ってきたという川辺夫人は、しごくにここにこしていた。インドで買ったサリーの話がでる。

「チンドン屋みたいだったでしょう」

「いや、似合っていましたよ。胸もお尻もさすがのインド人もびっくりするほどね」

カトマンズの夕食以後、川辺夫人のサリー姿は見えない。私が最後の夜だから、サリーの注文をするが引受けてもらえそうにない。また、スケッチですかと、野中は眼をこすりながら顔をあげた。

「この旅行で、一番幸せだったのは川辺夫妻でしょうね。新婚旅行を兼ねたんですから。その反対に一番の悪運は俺だったな」

野中はいい終らぬうちに、握りしめたグラスを着い富士額に押しつけていた。

(シール・ブラウンはあざらしの毛皮色)

(つづく)

# アサヒ本生



## 「アサヒ本生」の特徴

○「アサヒ本生」の中味はたる生ビールと同じ生ビールですから飲みやすく、お客様に喜ばれ、売り上げもアップします。

○しかも、たる生ビールと違い、手軽に扱え、面倒な設備や売れ残りの心配もありません。

○「アサヒ本生」には、大びん(633ml)と、中びん(500ml)の2種類が揃っていますから、お客様の適量に応じることができます。

# fresh!

フレッシュな製品をつくりお届けするのが私達の役目です



## 取扱品目

牛乳	ソフトミックス
生クリーム	コーヒー用クリーム
ケーキ用クリーム	各種アイスクリーム

株式会社

# 六甲牧場

神戸市灘区篠原南町6丁目1-25 ☎神戸078(801)6000(代表)







## ファッションブル ドライバーよ！

日高 里枝さん〈親和女子大学〉

今春から晴れて花の女子大生。学生時代を有意義に送るにはライセンスは必需品よね。私の家はこの自動車学院のすぐ近くで、兄もこの卒業生なの。わりとスムーズに私もライセンスを獲得できたわ。初心者マークを貼った真赤のフォルクスワーゲンが私の愛車よ。まだ新米だからあまり遠くへは走れないけれど、そのうち抜群のテクニックのドライバーになるんだから



■スタッフ紹介/大林 静雄さん(教務課々長補佐)

サングラスをかけているときは、ちょっとおっかなそう……だけどサングラスをはずすとご覧のとおり目元がやさしい大林先生。「いつまでも初めて運転した時の気持ちを忘れずに。」

●ライセンスローン開設！

公安委員会指定・技能試験免除

## 神戸自動車学院

☎581-1207 (代表)

神戸市北区緑町3丁目6番1号  
(神鉄山の街下車)



# 女子大生集合！

Jardin room  
〈3〉神戸学院大学



喋る、食べる、笑う、又食べる

## 神戸学院大学落語学院

月まんまる顔の女の子は月がびったりの美女達。30名余りの男子部員の中で紅4点シャンゼリゼ風の洒落たガラス張りのお店で古典落語の話。さすが現代っ子！6月25日の「元町迷人会」のため只今猛練習中。

写真左から榎橋由江さん（春の家若菜）、岡本久美子さん（春の家まどか）、田中慶子さん（春の家つくし）、瀬戸千賀子さん（春の家あかね）

（サンこうべ店にて）



# ミャルダ

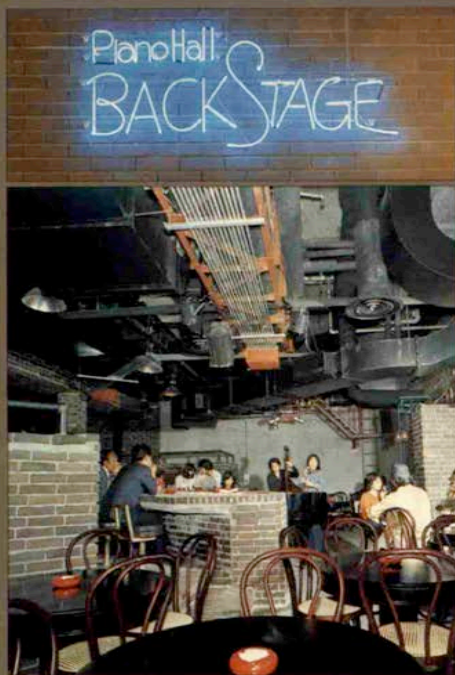
楠 公 前 店 ☎351-1149  
大 丸 店 ☎321-5257  
サンこうべ店 ☎351-6032  
中 山 手 店 ☎331-6680

サンこうべ店





● COFFEE TIME AM 11:00-PM 6:00 ● WHISKY TIME PM 6:00-AM 0:00



Piano Hall  
BACKSTAGE

Tel 078-332-0230

神戸市生田区三宮町1-5

三宮センター街 サン・ブラザ10F [サン・ロイヤル・ブラザ]





おかげさまでスナック美和は6月10日で満3周年を迎えることになりました。

つきましては6月9、10、11日の3日間、感謝の気持ちとしてささやかながら記念品を用意させていただきたく存じます。

今後ともパレ小姫ともども  
よろしくお引き立ていただ  
けますようお願い申しあげ  
ます。 梅沢 和子

梅沢 和子

スナック

**MIWA** 美和

神戸市生田区下山手通1丁目1  
TEL (078) 391-3050

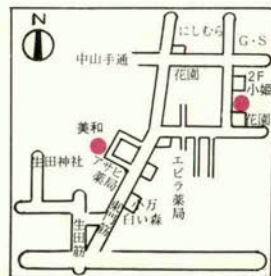
6:00PM~1:00AM 日曜休み

Pale 小娘  
Kobime

神戸市生田区加納町4丁目  
神三ビル2F

TEL (078) 332-1098

6:00PM~1:00AM 日曜祭日休み



にぎわいのなかに温かさがある

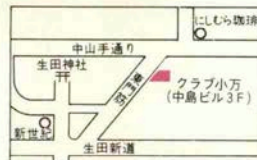


▲神戸酒祭りより (1977.4.8)



CLUB  
小万

岩本 起代子



神戸市生田区中山手通1丁目114-1 (東門筋) 中島ビル3F ☎ 391-0638・4386





店三周年を迎えて昭ちゃんも豊くんも、スタッフ一同張り切りの“サテンドール”にアン・パートンが来店。

JAZZ CLUB

## SATIN DOLL

生田区中山手通1 ☎ 242-0100 無休



話上手な美女たちとお酒——今夜のあなたは“ラベコスタンタン”の和気あいあいとしたムードのなかで。

SNACK & NIGHT SPOT

## ラベコスタンタン

生田区中山手通1 マリンビル地下 ☎ 332-1019  
第一、三日曜休



一人で飲むもよしノみんなで楽しく飲むもよしノ ボトルキープであなたも“ティファナ”の仲間になりませんか  
オールド、テキーラ 各6000円

メキシコ料理の店

## TIJUANA

生田区中山手通1 ☎ 242-0043 無休



上品で落ち着いた雰囲気“シャングリラ”での洋酒の味——貴方の理想郷。姉妹店「グランプリ」もよろしく

SNACK



## シャングリラ

生田区中山手通1 マリンビル1F ☎ 391-8941  
日祝休

Bells will be ringing and birds will be singing, if you and your lover should ever discover that there's a summer place.

SUMMER PLACE



# 神戸のうまいもんとドリンキング

## ★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**  
 舞合区旗塚通7-5 ☎ 231-6300  
 トアロード店 ☎ 391-2538  
 兵庫駅前店 ☎ 575-5306

北海道郷土料理 **蝦夷**  
 生田区中山手通1-115東門筋東門会館ビル1階  
 ☎ 331-7770

和食 **くれなゐ**  
 三宮生田新道浜側中央KCBビル2F  
 ☎ 331-0494

鍋もの・おむすび **悟味西**  
 生田区北長狭通1-20 ☎ 331-3848  
 三宮さんちかタウン ☎ 391-5319

たこ焼 **たちばな**  
 三宮センター街(旧御蔭) ☎ 331-0572

とうふ料理 **東府家**  
 生田区北野町3-53 ☎ 221-1148

お茶漬・おむすび **ふる里**  
 生田区北長狭通2-1 ☎ 331-5535

かつばう吉 **本**  
 生田区加納町3-95-1(ニュージャパン別館前)  
 ☎ 241-3450

## ★西洋料理

レストラン **アポロン**  
 ティー・バーラー  
 舞合区八幡通5-6 ☎ 251-3231

レストラン **鹿鹿皮〈あらかわ〉**  
 生田区中山手2-9  
 ☎ 221-8547・231-3315

ピザ&スバゲティ **ガルの店**  
 舞合区琴緒町5-1-7 西山ビル1F ☎ 241-9025

ステーキハウス **グリル青山**  
 生田区中山手通2-112-2(トアロード)  
 ☎ 391-4858

レストラン **クィーンズコート**  
 生田区山本通2丁目31 ☎ 242-2469

ステーキ&ドリンクス **神戸館**  
 生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F  
 ☎ 321-2955

スカンディナヴィア料理 **ゴックスタッド**  
 と世界の民族音楽の店  
 生田区山本通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131

GALLERY & STEAK HOUSE **SAN-MON三門**  
 生田区中山手通2丁目98-99 ☎ 331-5817

Café et Restaurant **アンドゥトワ**  
 レストラン  
 生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639  
 スイス・シャレー  
 生田区北野町3-48アニルマンション1F  
 ☎ 221-4343

レストラン **セントジョージ**  
 生田区北野町1-130 ☎ 242-1234

レストラン **男爵**  
 生田区中山手1-18  
 山手第一ビル1F ☎ 241-0778

メキシコ小料理亭 **ティファナー**  
 生田区中山手通1丁目4-12 パールコーポラスビル1F  
 ☎ 242-0043

maison de la mode **花屋敷**  
 ビザ・パブ  
 三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-0315  
 ピザ・パブ **ピザ・パテオ**  
 生田区元町通1-49(元町1番街)  
 ☎ 331-9378

フランス料理 **ビストロドゥリオン**  
 レストラン  
 生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727

ピッツアハウス **ピノッキオ**  
 生田区中山手通2-101 ☎ 331-3545

ナイスレストラン **火の鳥**  
 生田区中山手通1-27 ☎ 242-1330

ポリネシア料理 **フィッシャー・マンズポート**  
 海賊焼  
 神戸港第4突堤ポートターミナル  
 ☎ 331-0301

レストラン **フック東店**  
 生田区栄町1-5-3 ☎ 321-3207

レストラン **ムーンライト**  
 三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 **月**  
 ☎ 331-2509

レストラン **元町フルーツホール**  
 フランス料理  
 元町1番街 ☎ 331-1987

ステーキハウス **れんが亭**  
 生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK **六段**  
 生田区元町通3 ☎ 331-2108

居酒屋 **ロス・ヒターノス**  
 フラメンコショー  
 生田区下山手通3丁目22  
 下山手セントラルハイツ  
 ☎ 391-5431

レストラン **フック神戸店**  
 生田区栄町2-24 ☎ 321-3453

炭焼ステーキ **凱旋門**  
 生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F  
 ☎ 321-3378

シルクロード料理  
 スハイスレストラン

ボロニア風  
 生パスタの店

サバー&れすとらん

## ★喫茶

ティー&スナック

喫茶

宮水のコーヒー

コーヒースポット

珈琲

ファッショナブルゾーン

珈琲

## ★club

c l u b

c l u b

c l u b

ク ラ ブ

c l u b

くらぶ

c l u b

B A R

ぶ は ら  
 生田区中山手通1丁目19 ☎ 241-7017

カ プ リ オ  
 神戸三宮さんアザラビ1F  
 ☎ 391-5206

津  
 生田区栄町通2-14 加地ビル3F  
 阪神元町駅西口南 ☎ 391-5700

エ ポ ッ ク  
 生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694

ガ ー デ ニ ア  
 生田区東町113-1 大神ビル1F  
 ☎ 321-5114

に し む ら 珈 琲 店  
 中山手店・生田区中山手通1-70  
 ☎ 221-1872・231-9524  
 センター街店・生田区三宮町2-35  
 ☎ 391-0669

北野店・山本通2-9 ☎ 242-2467  
 (会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880

メディタレーニアン  
 生田区北長狭通3(トアロード)アーバンビルB1  
 ☎ 331-2050

モ ー ツ アル ト  
 生田区山本通2-98グランドマンション1F  
 ☎ 241-3961

キン グ ス コ ー ト  
 ティー・ラウンジ  
 生田区山本通2-111 キングスコート内  
 ☎ 242-7090

ん  
 生田区三宮町2丁目25(トアロード)  
 ☎ 391-1589

飛 鳥  
 生田区中山手通1-117 ☎ 331-7627

小 万  
 生田区東門筋中島ビル3F  
 ☎ 391-0638・4386

さ ち  
 生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120

千  
 生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077

な ぎ さ  
 生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626

ー げ ん  
 三宮生田新道浜側中央KCBビル5F  
 ☎ 331-8593

M o o n L i g h t  
 B A R ☎ 331-0886・391-2696  
 Club ☎ 331-0157

ク ラ ブ る ぶ ら ん  
 生田区北長狭通1-53 ☎ 331-2854

★STAND & SNACK  
 PUB & RESTAURANT  
 ア ッ プ ラ ン ド  
 生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271

サ ロ ン  
 アルバトロス  
 生田区中山手通1-24-7  
 大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

DRINKING IS AN ART OF LIFE  
 ウッドハウス  
 生田区下山手通1-32 ☎ 241-7320

C A F E WHISKY  
 音楽の家・ETエトワト  
 生田区三宮町3 三宮センター街西入口  
 スカイトーアビル3F ☎ 332-1755

純会員制  
 エドワーズ倶楽部  
 生田区北長狭通1-28  
 ホワイトローズビル5・6F 生田新道  
 ☎ 391-3300

S N A C K L  
 生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1  
 ☎ 321-3070

ナイトイン  
 おしゃれ貴族  
 生田区中山手通1-24-7  
 大和ナイトプラザB1 ☎ 242-1925

スナック  
 蘭の花  
 生田区中山手通2丁目30-1  
 東門ダイワナイトプラザ5F ☎ 391-4455

スタンド  
 かてな  
 生田区中山手通1-90 英健ビル1F  
 ☎ 331-1316

本店洋酒の店  
 キャンテイ  
 生田区北長狭通2-3  
 ☎ 391-3060・391-3010

北店スープとパンの店  
 生田区下山手通3-8-9  
 ☎ 331-3661

スタンド  
 グラムール  
 生田区岸比地地蔵 ☎ 331-4637

スタンド  
 くる実  
 生田区中山手通1-72 ☎ 331-6985

サ ロ ン  
 神戸時代  
 生田区中山手通1-28  
 モンシャウトウコトアビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ  
 サウオイ  
 高築山側 テキの店北 ☎ 331-2615

スナック  
 聚利  
 生田区下山手通2-8-6 ☎ 321-0260

スナック  
 山荘  
 生田区北長狭通1-22 ☎ 391-5823

music spot  
 サントノーレ  
 トアロード店 生田区下山手通2トア・ワード  
 ☎ 391-3822

北野店 生田区中山手通1-24-7  
 ダイワナイトプラザ6F ☎ 221-3886

スナック  
 レオバルド  
 生田区中山手通2丁目30-1  
 東門ダイワナイトプラザ6F ☎ 391-0992

DRINK SNACK  
 スネカジリッ  
 生田区下山手通2 永興ビルB1  
 ☎ 391-8708

Wine and something  
 珍地理屋  
 生田区中山手通1-24-7  
 大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

素舌洞  
 でっさん  
 生田区北長狭通1-258 ☎ 331-6778

スナック  
 ビジービー  
 生田区中山手2 ☎ 391-4582

ワイン&ティー  
 レストラン  
 バランタイン  
 生田区中山手通2-101 大洋ビル2F  
 ☎ 321-5677

居酒屋  
 ボルドー  
 生田新道浜側中央KCBビルB1  
 ☎ 331-3575

S T A N D  
 マッシュケナダ  
 生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F  
 ☎ 331-5587

サ ロ ン  
 パレ小姫  
 生田区加納町4丁目神三ビル2F ☎ 332-1098

スナック  
 興志務楽亭  
 生田区山本通2-60パールライフB1  
 ☎ 242-1977

ティー&カクテルラウンジ  
 ルカカルトン  
 生田区北野町3-2-67 ☎ 241-4323

ウエスタンパブ  
 神戸ホンキートンク  
 生田区加納町2-2-30  
 ☎ 241-2161

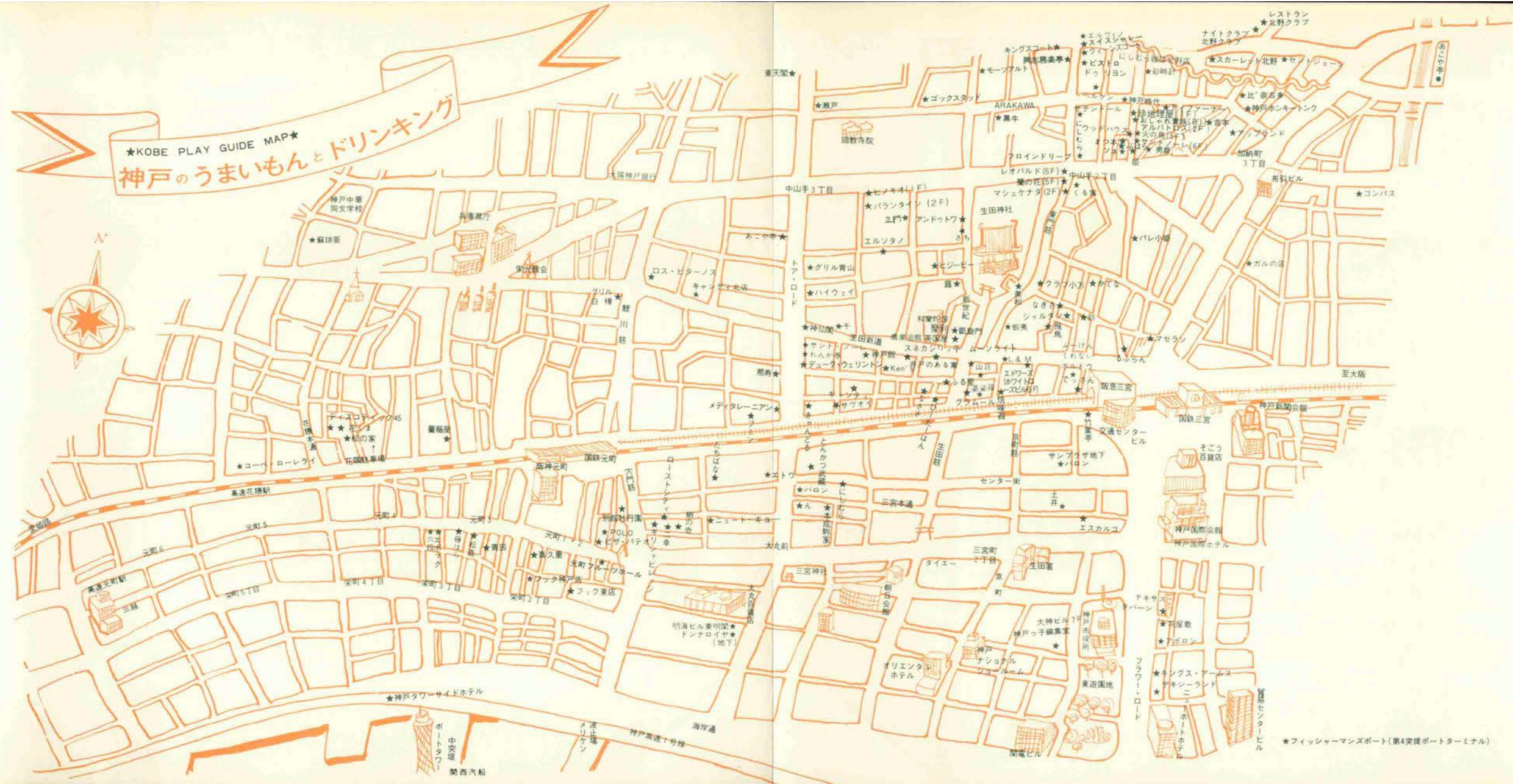
バーラー  
 サンデリカ  
 生田区中山手通1-90  
 ☎ 392-1434-6

ラウンジレストラン  
 コンパス  
 舞合区二宮町3-12 大西ビル2F ☎ 242-1236



★KOBЕ PLAY GUIDE MAP★

神戸のうまいもん＆ドリンキング



★フィッシャーメンズポート(第4突堤ポートターミナル)



# NIGHT IN KOBE

夏もまぢか。神戸で出会う白の輝き。



スイングにジャズが流れ楽しい語らいのある“レオパルド”の気軽な雰囲気の中で初夏のお酒を……どうぞ。



## LEOPARD

生田区中山手通2 東門ダイワナイトプラザ6F

☎ 391-0992・2125 第3日曜休



“輝光”がイメージチェンジ。ほのかな木の香りと光のラインの輝き——シンプルでシックなインテリアで誕生  
昼間は喫茶としての営業もしています

## 輝 KIKŌ 光

生田区中山手通2 ☎ 321-0860 日祝休



愉快地飲んで語って唄って……乾杯！ 初夏の夜は思い  
思いの気分で楽しめる“阿羅仁”があなたにピッタリ。

スナック

## 阿羅仁 あらじん

生田区中山手通1 ☎ 391-0865 無休



初夏の宵のひとときはあなたのホームバー“ジュテーム”  
の落ちついたムードのなかで飲んで語って唄う楽しさを

## Je t'aime

ジュテーム

生田区中山手通2 東洋ビル2F

☎ 391-3746 日祝休





DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

**WOODHOUSE**

山内ビル

☎241-7320・7983

☆いつもの店のいつもの顔——。楽しかった神戸まつりも終り、町はスッカリ夏らしくなりました。道行く女性の姿も、復活したミニスカートも軽やかに、神戸の町のステキなアクセント。若い仲間のいつも集まる「ウッドハウス」では今夜も気心の知れたいつもの顔が揃いました。チャーリーのソウルフルな歌声に耳を傾けて、ただ今、この夏のプランをアレコレと練っているところ。あそこへ行く、いや、こっちの方がいい、とんでもない、オレは断然あそこだ……。仲々まとまらず、ついつい時間が経って、結局、明日、もう一度「ウッドハウス」に集って決めようと、それが今夜の結論。それではめでたく乾杯と行きましょう。  
☆ビール(小) ¥400 水割(OLD) ¥500 おつまみ ¥200 スパゲティ・ピラフ各 ¥500 キーブG&G ¥6,000 レギュラースコッチ ¥7,000  
平日5:00PM~4:30AM 日曜5:00PM~0:00AM 第1・第3月曜休み



KOBE DRINKING GUIDE



PUB &  
RESTAURANT

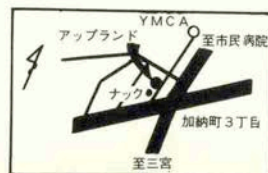
**PLANDS**

生田区加納町3丁目

1-34

☎241-8271

☆気心が知れた仲間が今夜も集まる「アップランド」。そこへ行くとい何か面白いことのありそうな、誰か面白そうなヤツに会えるような……何となく気にかかり、ついつい足を向けたくなるナイトスポット。飲むもよし、食べるもよし、ひとりでもの思いにふけるのも、仲間と賑やかにやるのも、それぞれが思い思いの楽しみ方のできる若者のたまり場。もちろん、若いハートのある人なら年に関係なく楽しく遊べます。気楽で陽気な本場イギリスのパブの魅力を知りたいければ、まず、ここ「アップランド」へ来てみることです。元ウェールズのラグビーの選手だったマスターのトニーが今夜も色々楽しい話をしてくれますよ。  
☆ボークソーセージ ¥900 シェパードズパイ ¥1,000 スターキ&キドニイパイ ¥1,000 フィッシュ&チップス ¥750 コーニッシュパースティ ¥800 プロス(ウェールズ風シチュー) ¥800 ヘレスターキ ¥2,800 J&B、G&G、OLD各 ¥500 ビール ¥400 フィズ ¥500  
5:00PM~3:00AM 日曜5:00PM~3:00AM 無休



●北野町の坂道のほとりにある小さなサロン神戸時代。このサロンから新しい時代の波を●



# ■神戸時代へのメッセージ

このところ外国ぐらしの多かった身にとって、神戸らしきのただよう「神戸時代」でいつでも呑める神戸っ子が羨ましい。

絵の展示も小品ながら現代作家達へも開放され、新しい神戸の息吹きを感じられるのは喜ばしいことです。

有方敏郎

(洋画家・経営コンサルタント)



「神戸の中の情景」展オープニングに集った画伯たち(上)、アメリカ爆りの有方敏郎さんを囲んでオープニングの集いと今宵も語らいの輪が広がる。



## 上西良一小品展

6月1日(水)→15日(水)

フランス、ギリシャの風景を油彩とパステルで描いた作品を展覧させていただきます。ご期待ください。



## 中村百合子小品展

6月16日(木)→30日(木)

パリ滞在中に描いたフランスの人生模様の数々、カフェに、クラブにモンマルトルに…そんな人々の生活と内面を独自のタッチで描く作品群です。

SALON & GALLERY

# 神戸時代

神戸市生田区中山手通1丁目28  
モンシャトーコトブキビル1F  
TEL 078・242・3567



# Alphabet AvenueのChair 椅子

[tʃεə]

文 新井 満 コラージュ 石阪春生

スペイン内乱の最中に書かれた「椅子」という詩をご紹介します。

坐っている間に 時は流れてしまった

パイプの煙と 教会の鐘

何冊かの詩集と 古いギター

僕はいつも 見ていた

妻の微笑と 丘を駆けて行く

花のような娘たちを……

坐っている間に 時は流れてしまった

砲弾の煙と 瓦礫の教会

焼かれた詩集と 地下壕の沈黙

僕は今 見ている

妻の白髪と 丘の上に並んでいる

娘たちの十字架を……

(J・アリカンテ)

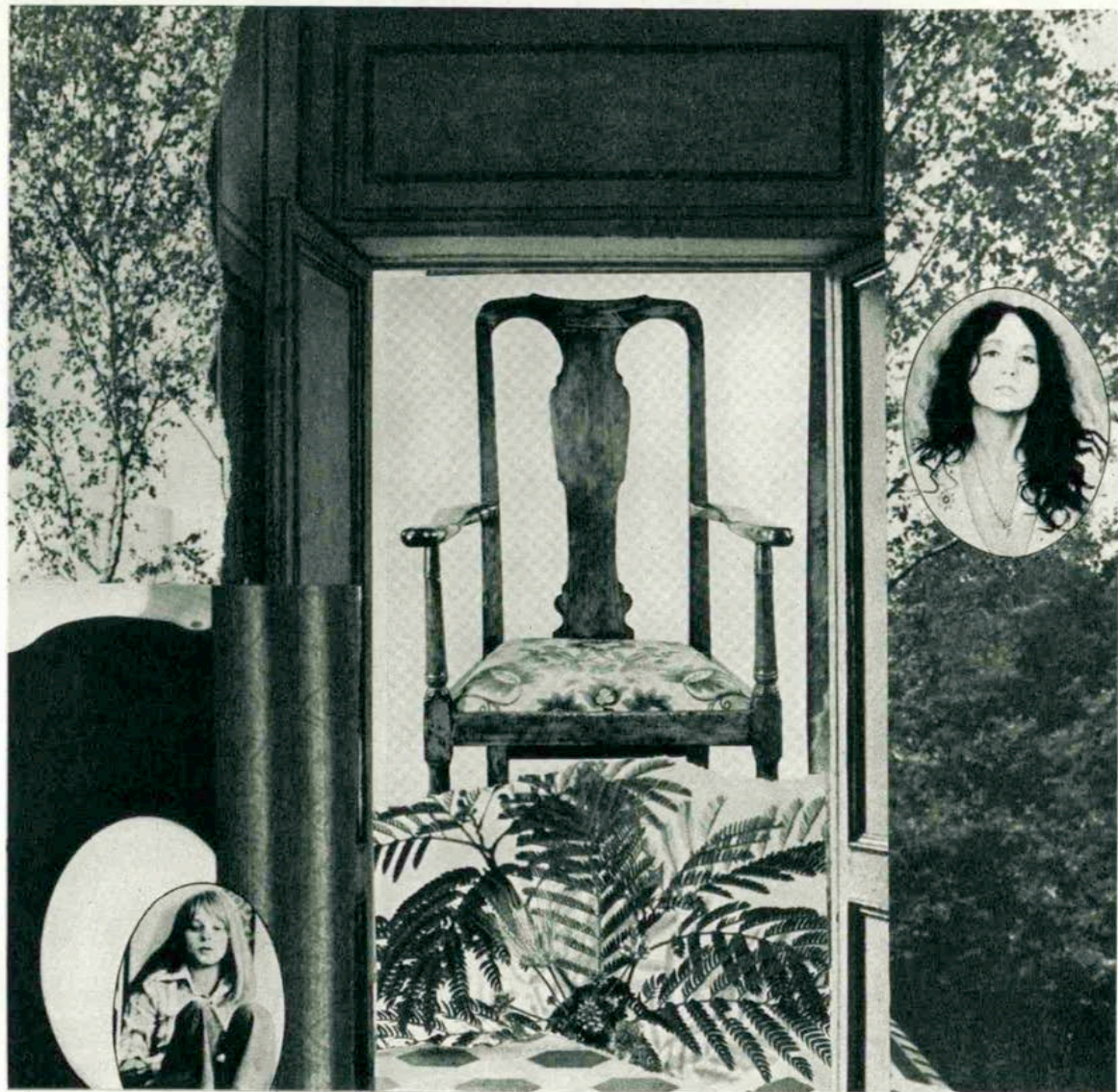
椅子には、権力の好きな椅子と、休息がよく似合う椅子の二種類があるんだそうです。ところが、権力椅子は、休息椅子の存在を仲々認めようとならないものだから、時々大喧嘩をするんだそうです。そうして、休息椅子の好きな人間が、しばしば、本当の休息を獲得するために、休息椅子での休息を放棄して、立ち上がって歩き出すという逆説を繰り返して来たわけですが、これを、私たち人間の戦争の歴史と言い換えてもよいかもしれません。

さて、立ち上がるべき時に、立ち上がったために、永久に主人不在となつてしまった一つの椅子は、はたしてどう思うでしょう。脚をふるわせて悲しむでしょうか。あるいは背もたれを張って誇りに思うでしょうか。それとも馬鹿な奴め……と腕を組んで舌打ちするでしょうか。椅子に聞いてみないとわかりません。

J・アリカンテ

(一八八二年バルセロナ生まれ、詩人、一八九九年人民戦線側兵士としてマドリッド陥落の際に戦死)







ようこそKOBEへFAIRSTAR号！



# 海船港



神戸港の春は次々と入港する外国航路の豪華客船によって一層華やかさを増し、街でみかける外人観光客の姿は春の観光シーズンの到来を告げる。

桜の花もすでに散った四月二十日、リベリア船籍の豪華客船「フエアスター号」(二一、六九〇トン、フエデリコ・カミア船長ら四百七十六人乗り組み)が真白な船体をポートターミナルに現わした。神戸港へは昨年の十月につづき二度目の入港で乗客九百人のほとんどはオーストラリア人。三月二十三日にシドニーを出発し、東南アジアを巡って日本を訪れ、長崎、鹿児島を回った後別府から瀬戸内海の小島の間をぬって神戸に入港、二十二日横浜に向けて出港し、グアム、ラバウルを経て五月八日にシドニーに帰港する。

さっそく乗船して船内を見て回ると船尾のプールの側で数人の浅黒く日焼けした船員がハゲ落ちたペンキの塗りがえ作業をしていた。彼らはポルトガル人ではほとんど英語はわからない。カタコトで言葉をやりとりするとこの船にはポルトガル人の船員が一六〇人も乗っているということだ。

この船の台所を見せてもらおうと思つてファーストクラスの食堂から調理場へ入っていった。すると十人ぐらの陽気なイタリア人のコックさんたちが夕食の準備をしており、ちょうどパンやチキンを焼いているところだった。「ひとつ食べてみないか?」といわれ、チキンを口に入れると油こくつてと



9年ぶりの神戸っ子のインタビューに感激したトニーさん(左端)



モダンなロビーでくつろぐ船客たち

てもおいしい。みんなの写真をとりたいうという、仕事をほったらかしてパソナ一枚で飛んできた愉快なおじさんもいた。調理場にはイタリア人のコックだけで四〇人近くもあり、ほとんどがナポリやボンペイ近くの南部イタリア出身者だ。コック長のウンベルトさんは真面目そうな人だが英語が話せないでマリオさん(40歳)という人を介して話をした。以前ナポリへ旅行で行ったことがあるという大変喜び、  
「ソフィア・ローレンの映画はよくみるよ」というと目を輝やかし、「ジーナ・ロブブリジータは知ってるかい?」と聞かれて「もちろん知ってるよ、イタリアには美人が多いネ」というと、「ソーダ、ソーダ」と意気投合し大きな手でギューと握手されたのでこちらのか細い手はにぎりつぶされてヒリヒリしどおしだった。

さて、キャビンを見たいと頼むとアントニオ君(35歳)と、インシニート君(24歳)が案内をしてくれた。アントニオ君はポルトガル人で十七年間船にのっており、この船では二等船室を担当、インシニート君はイタリア人でまだ三年目で一等船室を担当している。ちなみにファーストクラスの船賃は四十六日間の航海で約一七三万円、エコノミークラスは一二七万円なので一日三〜四万円になる。やはり乗客の大半はお金と暇のある老夫婦ということになる。

この船の乗組員はポルトガル人一六〇



人、イタリア人一五〇人、インドネシア人三八人、オーストラリア人二五人、中国人十人、イギリス人十人、その他スイス人、オーストリア人…… というように多種多様であり、船長はイタリア人である。あたかも国際連合のような船だ。インシニート君の給料は月給約二〇万円、アントニオ君が十六万円。インシニート君は独身で、アントニオ君はリスボンに家族がおり仕送りを続けている。神戸では八歳の娘のために日本人形を買ったと嬉しそうに話してくれた。

さて、船客に取材をしようと思ってラウンジでくつろいでいる老人に話しかけると、その老人はやおら月刊神戸っ子の雑誌をみて「一九六八年頃にオーカディオ号という船で神戸にきた時、この雑誌の女性レポーターからインタビュを受けたことがあるよ」と意外な「告白」をされた。このトニー・ロトンド（58歳）という老人は日本へきたのはこれで三度めで、二度めは一九七三年にスチュワートのインシニート君（右）とアントニオ君

さあパンが焼けたよ、  
一つ食べてみるかい？

ニューホランド号という客船でやってきた。オーストラリアのサーフェイス・パラダイスという観光地に住んでいるが子どもがないので気楽に夫婦で海外旅行を楽しんでいる。月刊神戸っ子の二度めの取材に偶然遭遇したというのでラウンジで私にコーヒーを、同行のカメラマンにはビールをごちそうしていただいた。トニーさんはイタリアで生まれ、赤ん坊の時に家族といっしょにオーストラリアへやってきた。父親は砂糖きびの栽培をしていたのでトニーさんも砂糖にはくわしく、日本へ輸出をしていたことや日本での栽培の様子などを話したり、質問したりして興味を示す。「オーストラリアへ来た時はぜひ立寄ってくれ。そして今とつてくれた写真を送ってほしい」といいながら船をおりて、ポートターミナルの出口までわざわざ見送ってくれた。いつかトニーさんに三度めの取材ができることを期待しながらフェアスタール号を後にした。

（橋本 明）

チキンを料理するウンベルトさん（右）たち





# Chianti

## キャンティコーナー

ファミリィな雰囲気

みんなが友達になって飲める店

松井 佐一郎さん (亀井堂総本店)

北浦 督典さん (北浦建設株式会社)

松井「どんな時に来ても楽しめるし、家族的でみんなが友達になつて楽しめる。これはマスターの人柄の現われでしょうね」

北浦「のめなくてもものみたくなる店。帰宅の時間が遅くなりそう……」と、義理の弟にあたる松井さんと水割りで乾杯する初夏の夜。

本店/洋酒の店 ☎ 391-3060

神戸市生田区北長狭通213 (日祝休)

北店/スープとパンとドリンク

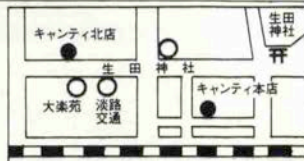
神戸市生田区下山手通3丁目8-9 (年中無休)

ティータイム AM11:00~PM6:00 ☎ 331-2122

ドリンクタイム PM6:00~AM1:00 ☎ 331-3661

小田イタルハモンド演奏  
毎夜8:00より

小集会・パーティはご予算に合わせてご利用下さい。  
ティーパーティ ¥ 600より  
ディナーパーティ ¥ 2500より  
(50名様まで)





サントノーレの  
ふれあい

## 中村 雅俊さん

〈俳優〉

NHK-TV『花神』で活躍中の中村雅俊さんが、神戸国際会館でのリサイタルがハネてからのプライベートタイムにお立ち寄り下さいました。レモンのようにさわやかな雅俊さんは、ピアノやギターで弾き語りを披露。とっても楽しいひとときでした。——中谷衣里



● ミュージック・スポット

KOBE魅惑のライブ

サント\*ノーレ

■トアロード店/神戸・生田区中山手2 ☎078(391)3822A.M11:00~A.M12:00ミュージックタイムP.M7:30~11:00  
■北野店/神戸・生田区中山手1大和ナイトプラザ6F ☎078(221)3886P.M6:00~ミュージックタイムP.M7:30~11:30



4ch Sound & Scotch

あんざい  
**Anzai**

生田区下山手通2-11  
サンビルB<sub>1</sub>  
☎ 331-0428

本格的な4chステレオコンボのレコード伴奏で気持ちよく歌える。飲んで歌って楽しく遊べる店。ロバートブラウン・パスポート水割各 600  
キリンビール(小) 600 6:00PM~1:00AM 第1・3日曜休み



ニユー  
**マート**

生田区北長狭通1-22  
上高地山側東へ入る  
☎ 321-3270

陽気で話の面白いママがいつも店を賑わせていて、心配事も消えてしまふほど暖かい雰囲気がいっぱい。ロバートブラウン・キープ 6,000  
水割 600・キリンビール(小) 500 5:30PM~1:00AM 日曜休み

## NIGHT IN JUNE



スナック

**照**

兵庫区大開通7丁目  
兵庫温泉前  
☎ 576-3548

ギター演奏をバックに自慢ののどを披露できる。良心的な値段で安心して飲める家庭的で明るい店。ロバートブラウン・キープ 4,800・水割 500・キリンビール(中) 500 5:30PM~0:00AM 第3日曜休み



スナック・喫茶

**アベント**

**アベント**

東灘区深江北町3-10  
阪神深江駅山側  
☎ 451-0765

夜7時からスナックタイム。大学生をはじめ若い人が多く、活気があり、ママはみんなの良き相談相手でもある。ロバートブラウン・キープ 4,000・水割 400・キリンビール(中) 400 8:00AM~0:00AM



噴水公園の白い飛沫が涼し  
げな初夏。やがてたそがれ  
る神戸の町角……とに残さ  
れた陽だまりがボソソとひ  
とつ  
れんがの館の豊かな晩空が  
恋しくなるひとときだ



ステーキハウス  
鉄板和紙焼®

れんが亭®

生田区下山手通2丁目21(アロード)  
TEL 331・7168 年中無休



# 神戸百店会

## \*宝飾品 Jewel・Pearls

- ①宝飾 ミキモト Mikimoto Pearls  
②宝飾 田崎真珠店 Tasaki Pearls  
③宝飾 タジマ Jewel Tajima  
⑤時計と宝石 美田時計店 Mita Watch Shop  
⑥宝飾 神戸ダイヤモンド Kobe Diamond

## \*紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

- ⑦紳士服 柴田音吉洋服店 Tailor Shibata  
⑧ネクタイ 元町バザー Motomachi Bazaar  
⑨紳士服 三恵洋服店 Tailor Mituei  
⑩男子洋品 フナキヤ Funakiya  
⑪紳士服 十字屋洋服店 Tailor Jujiya  
⑫洋品雑貨 サノヘ Sanohe  
⑬ワイシャツ 神戸シャツ Kobe Shirt  
⑭紳士服 洋服の粹渡 Watanabe  
⑮紳士服 ニッケショールーム Nikke Showroom  
⑯紳士服飾 ウェンズショップ Men's Shop Une  
⑰紳士シャツ 大和屋シャツ Yamatoya Shirt  
⑱メンズウェア マーキュリー MERCURY

## \*婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

- ⑲帽子 マキシム Maxim  
⑳服飾雑貨 エスターニュートン Esther Newton  
㉑洋品 スギヤ Sugiya  
㉒ハンドバック シラサ Shirasa  
㉓ベビー用品 ファミリア Familiar  
㉔婦人服地 シンワ

- ⑳洋品 傘 元町通三丁目 3-motomachi  
㉑洋品 傘 元町通三丁目 3-motomachi  
㉒婦人服飾 セリザワ Serizawa  
㉓婦人・紳士服飾 ベニー毛皮店 Bennie Furrier (Furs)  
㉔毛皮 コマツツヤ愛苑  
㉕高級婦人服地 お仕立て KOMATUYA  
㉖婦人服飾 三 San-ai  
㉗オートクチュール 装 Seon

## \*装身具・服飾品 Accessary・Dress

- ㉘ベッ甲 太田ベッ甲 Ota Co. (Tortoise-shell ware)  
㉙ハンドバック イクシマヤ Ikushimaya  
㉚アクセサリー アクセサリー Geimu  
㉛婦人・紳士靴 クロス Cross Shoes  
㉜婦人・紳士靴 ヨシオカ Yoshioka Shoes

## \*和装 Kimono・Geta

- ㉝呉服 ちんがら屋 Chingaraya  
㉞呉服 みよしや Miyosiya  
㉟衣裳 中川衣裳店 Nakagawa  
㊱衣裳 つるや衣裳店 Turuya

## \*美容 Beauty Shop

- ㊲美容 ブルーあきら Blue Akiara  
㊳美容 ローズあきら Rose Akiara  
㊴美容 美容室エリザベス Elizabeth Beauty Shop

## \*美術・工芸品 Art

- ㊵美術 元町画廊・若木屋 Motomachi Gallery  
㊶画材・顔料 末積製額 Suezumi  
㊷工芸 磯川工芸店 Isokawa  
㊸美術陶磁器 淡洲堂 Tanshudo  
㊹新古美術 播磨新美術 Harishin  
㊺美術品 元町美術美術会  
㊻記念品・贈答品 平山商會

## \*家具 家庭・文化用品 Furniture・Family

- ㊼家具 永田良介商店 Nagata Ryosuke Shop  
㊽玩具 カメヤ Kameya Toy Store  
㊾メガネ 神戸眼鏡院 The Kode Optical Co., Ltd  
㊿カーバン 大上靴店 Oue Trunk Co.  
㊽ゴルフ用品 タカハシ GOLF & BAG TAKAHASHI  
㊾薬品 三星堂薬局 Sanseido Pharmacy  
㊿メガネ 服部メガネ店 Hattori Optical Shop  
㊽結婚儀式用品 遠藤福寿堂 Endo-Fukujudo  
㊾店舗・住宅内装 インテリアイリフネ Interior Iriune  
㊿家具・インテリア メーブル FUJIYA

## \*菓子・喫茶 Tea・Tea-room

- ㊽和洋菓子 風月堂 Fugetsudo  
㊾瓦煎餅 亀井堂 Honke  
㊿菓子 雁治郎飴本舗 Ganjiroame-Honpo  
㊽洋菓子 ドンク Donk  
㊾チョコレート モロゾフ Morozoff  
㊿ドイツ菓子 ユーハイム Juchheim's  
㊽洋菓子 ヒロタ Hirota Confectionery  
㊾洋菓子 ニーハイムコンフェクト Nie-Haim Confect  
㊽和菓子 二つ茶屋 Futatsuchaya  
㊾菓子 本高砂 Hon-Takasagoya  
㊿菓子 ベル Bell  
㊽菓子 河南堂 Kanando  
㊾チョコレート コスモポリタン Cosmopolitan  
㊿瓦煎餅 菊水総本店 Kikusui Sohonten  
㊽喫茶 UCC上島コーヒショップ UCC Ishima Coffee Shop  
㊾チョコレート ゴンチャロフ Goncharoff  
㊿パン・喫茶 カスカード Cascade

## \*和洋料理 Eating House

- ㊽日本料理 竹葉 Chikuyotei  
㊾天婦羅 小川 Okagawa  
㊿寿司 本成駒 Hon-Narikomaya  
㊽とんかつ 武蔵 Musasi  
㊾スペイン料理 カルメソン Carmen  
㊿欧風料理 ハナワグリル Hanawa Grill  
㊽ビヤ・ホール ニュー・トーキョー New Tokyo  
㊾海川魚 時雨茶屋 Shigure Jaya  
㊿軽料理 蛸の壺 Takonotsubo  
㊽レストラン 北野クラブ The Kitano Club  
㊾レストラン ブランドウブラン Blanc de Blanc  
㊿ふぐ・天ぷら・寿司 栄 Sakaeya  
㊽寿司 又 Matahei  
㊾神戸肉 大井肉店 Ooi Beef Shop  
㊿クラブ・料亭 Night Club  
㊽料亭 松の家 Matsu no ya  
㊾ナイトクラブ 北野クラブ The Kitano Club  
㊿クラブ ディスコティック 45 Hotel  
㊽ホテル 神戸オリエンタルホテル Oriental Hotel  
㊾ホテル 六甲オリエンタルホテル Rokko Oriental Hotel  
㊿観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣 Kosenkaku  
㊽ホテル ニューポートホテル NEW PORT HOTEL

## \*商社 Trading House

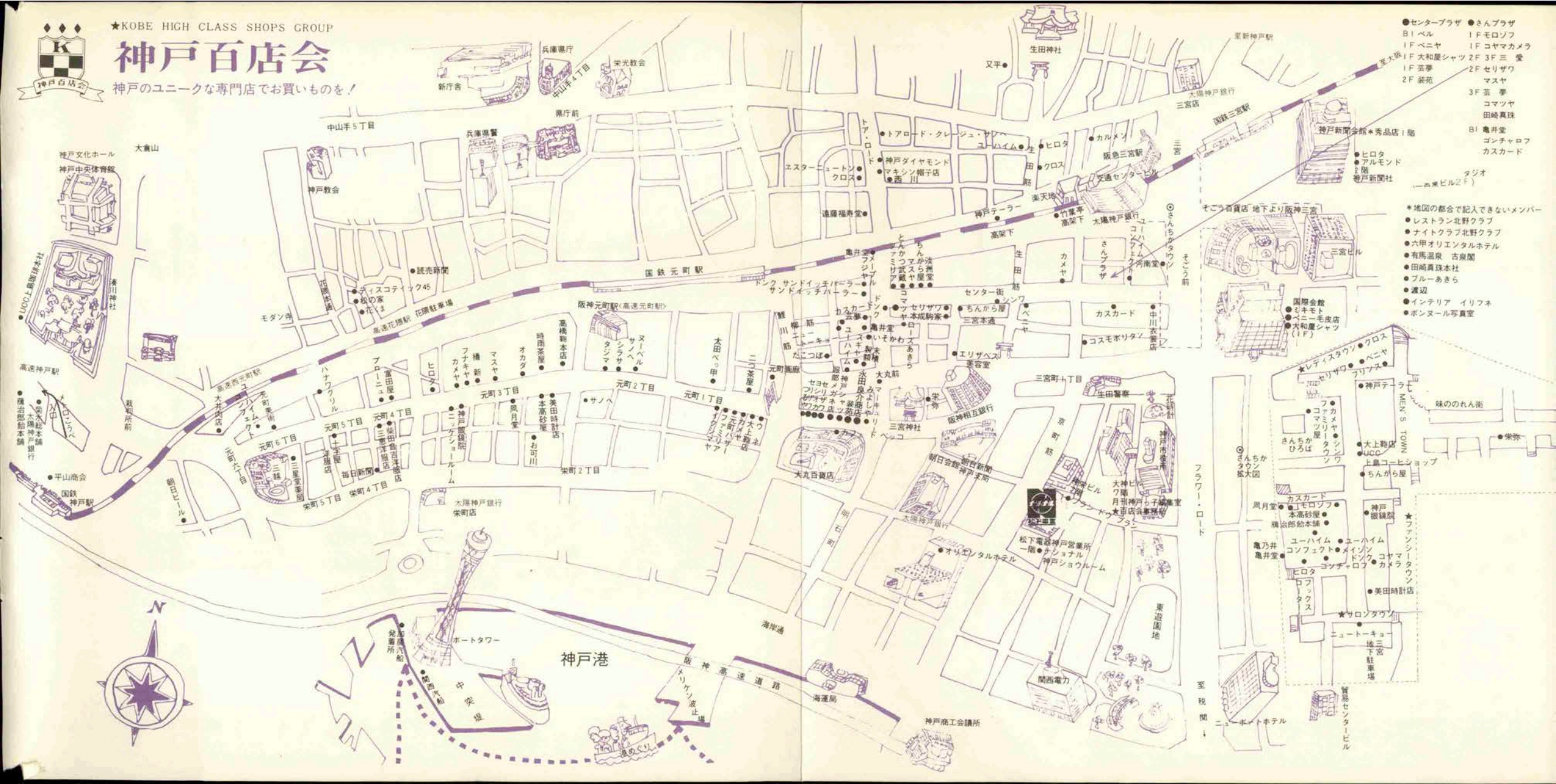
- ㊽ビール 朝日麦酒 K K Asahi Beer  
㊾電化製品 ナショナルショールーム National Showroom  
㊿銀行 太陽神戸銀行 THE TAIYO KOBE BANK, LTD.  
㊽珈琲・紅茶 UCC上島珈琲本社 UCC Ishima Coffee





神戸百店会

神戸のユニークな専門店でお買いものを!







永い間みなさまの憩いの場として  
ご愛顧をいただいておりますが、  
5月10日、装いを新たに  
オープンいたしました。

オープニングパーティーには大  
勢の方のご来店をいただき、盛  
況のうちに新しい門出を祝うこ  
とができました。

今後ともお引き立て下さいます  
ようによりしくお願い申しあげ  
ます。

浦野 久子



クラブ  
CR3 ふらん

神戸市生田区中山手通1丁目111-11

TEL (078) 331-2854



## まっ白なバルコニーのむこうは 広い海と青い空

6月12日(日)に三周年記念パーティ〈ヨットレース・釣り大会・ダンスパーティetc〉を開催します



シーサイドゴルフコンペより



新しいクルーザーが到着



ヨットやモーターボートでもおこし頂ける  
南仏風レストラン

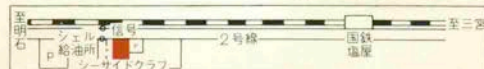
**SEA SIDE CLUB**  
**PALACE**  
**SHIOYA**

神戸市垂水区塩屋町字高尾179の6 シーサイドパレス塩屋内  
(国鉄塩屋駅西400メートル) TEL 753-1373 (駐車場完備)

☆営業時間 11:00AM~11:00PM 年中無休

日本で初めて輸入 スイス「エグロ」  
コーヒーメーカーで美味しいコーヒーを  
☆メニュー 旗立貝のグラタン 1400円  
自家製テリーヌ800円 オニオングラタン  
スープ700円 スイスのグリル1600円 仔  
牛のロースト1700円

★色々な特典が多い会費を募集中です。  
入会金 個人 20,000円  
法人 50,000円





# ST. GEORGE CLASSIC GOLF

## CHAMPION SHIP 4TH

### 第4回セントジョージクラシック選手権エントリーメンバー表

本沢 健治	宅和 一男	安永 健司	石井 二一	荒谷 登	岩本 久	松本 格	守山 正	西川 富	北村 元	高江 江
田中 健二	小堂 勉	柳生 喜一郎	川西 孝房	西野 房昇	小池 敏之	安東 弘志	柿本 一夫	宮内 雅	米沢 秀	江田 雅
荒木 英二	繁男 宗	渡辺 盛夫	近藤 川中	佐野 三郎	畑田 徳	安広 弘	八木 井出	内川 敬	長山 安	神田 茂
森脇 昌幸	井上 健	千草 豊司	福村 善男	堀上 善	徳持 丸	森川 武	西田 武	二之宮 真	安部 大	中島 足
橋本 昌幸	戸谷 健	五十井 正	岡本 清	古原 永	三原 大	今村 板	新美 武	荒瀬 貞	大岩 昌	森 昌
小沢 進一	茂山 秀	末松 定	南木 清	秀夫 作	幸 幸	板倉 光	北野 新	朝日 中	中村 仲	野網 とし
小前 民雄	上荷 勉	北山 新	平山 貞	湯川 伸	池田 弘	近藤 風	矢切 北	中島 知	勝 文	
岡田 精作	萩岡 賢	川崎 巖	安井 和	岩本 長	浜田 玉	文司 功	釜江 義	石井 利	吉川 洋	
栗山 和三	輝美 一	恵三 富	西山 玉	岩本 長	長谷川 曼	安田 誠	西田 信	松田 信	和田 一	
下津 幸雄	羽田 一	里見 富	佐藤 巖	坂本 利	木村 敏	高橋 健	晃洋 晃	所司 原	馬場 大	
柳瀬 俊夫	龜山 清									

優勝 本沢健治 46.47.40 (HD37.5) 95.5 準優勝 田中 寛 48.46.44 (HD37.5) 100.5 3位 荒木英二 44.44.51 (HD37.5) 101.5 4位 森脇昌幸 43.46.44 (HD30) 103 5位 松本昌幸 42.48.46 (HD33) 103 L優勝 西山玉枝 46.52.51 (HD37.5) 111.5 ベストクロス 茂山秀雄 39.41.41 (HD13.5)



## ST. GEORGE JAPAN

NO.130 KITANO-CHO 1CHOME IKUTA-KU KOBE

小集会、ご披露宴、展示会などの  
パーティにご利用下さい。

個人会員 / 入会金 20,000円 (会費不要)  
特別会員 / 入会金 50,000円 (会費不要)  
ご入会のお問合わせ・お申込みは  
セントジョージ・ジャパン事務局まで  
PHONE 078 (242) 1234代



5:00PM~0:00AM

5:00PM~11:00PM (日曜祭日)

・駐車場完備・

第5回セントジョージクラシック

6月9日於小野ゴルフクラブ 参加ご希望の方はセントジョージジャパンまでどうぞ



77大丸のテーマ

まぶしい人になれ



蝶。鳥。海。  
自然の美しい  
夏です。

もめんの夏。

やわらかなシルエットに美しい  
ファンタジックなプリント。真夏は  
楊柳・綿ボイルがすてきですね。

\*ご紹介の品は  
2階ひよしや 森英恵の店。



神戸もとまち  
**大丸**

電話 (078) 331-8121  
〈水曜定休〉

昭和四十年一月二十日 発行所/神戸市生田区東町1-13の1 大神ビル7F TEL(078)224-06  
第三種郵便物認可 昭和五十二年六月一日発行 毎月一回一日発行 ナニワ印刷(株)印刷

編集発行/小泉康夫(送料45円)  
頒価二〇〇円